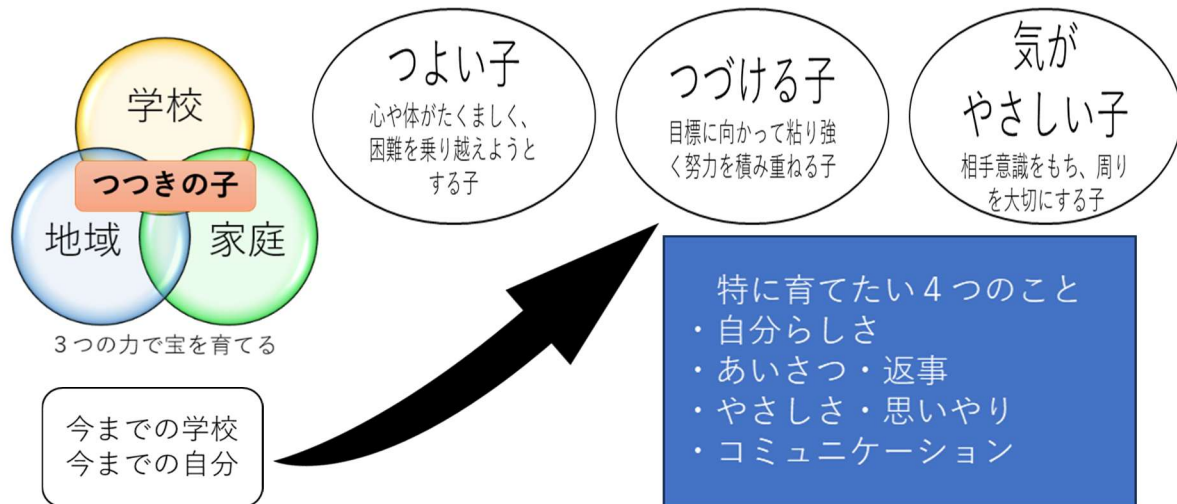


本校の教育

【学校教育目標】

子どもを信じ、その成長を支える思いと責任感をもって、「つつきの子」を育てる。



〈よさ・強み〉

- 落ち着き、穏やかさ
- 世話好き
- 地域のサポート、安心感
- 小規模

〈課題〉

- 反応の鈍さ、声の小ささ
- 自分たちで決めて動く経験の少なさ

R 8の取組

〈基本姿勢〉

- ・一人一人が主役（それぞれに役がある）
- ・異論歓迎（できる意見だけで進めない）
- ・子どもに委ねる（出来栄ではない）

○全校総会（目標やルールづくり）

⇒ 総会の結果から考えられる取組

○たてわり活動（遊び、給食、掃除）

○得意発表会〔仮称〕

特に育てたいこと	1・2年	3・4年	5・6年	卒業後
自分らしさ (つよい子・つづける子につながる基盤の力)	気持ちを素直に伝えられる／自分を大切にしようとする	自分の考えをはっきりと言える／自分の得意・苦手に気づく	自分のよさを活かして活動できる／自分を律して行動できる	自分の考えを積極的に発信できる／価値観や考えを深めながら判断できる
あいさつ・返事 (気がやさしい子の日常的なふるまい)	明るくあいさつ／しっかりと返事	だれにでもあいさつ／感謝や謝意が言える	相手を思いやったあいさつや言葉がけができる	相手や場に応じたふさわしい言葉づかいができる
やさしさ・思いやり (気がやさしい子、そのものの姿)	やさしく接する／仲よくできる	相手の気持ちに気付き、行動で示せる／協力ができる	相手を尊重し、よりよい関係づくりに努める／役割を果たしながら協力できる	周りの人と共によりよい環境をつくろうとする／困っている人に手を差し伸べられる
コミュニケーション (つよい子・つづける子の学びの姿)	素直に話を聞ける／助けを求められる	異なる考えを受け入れる／気軽に相談できる	相手の意見を尊重し、話し合っよりよい案をつくることできる	協働的に行動し、チームで課題を解決しようとする

あなたも わたしも のびる学校 ➡

〈令和8年度 本校の教育方針について〉

本校は、令和8年度に創立150周年という大きな節目を迎えます。地域とともに歩み、長い年月にわたり受け継がれてきた本校の歴史には、子どもたちの成長を願う多くの思いと、地域の皆様の温かな支えが息づいています。この積み重ねが現在の筒城の教育を形づくり、そして未来へとつながっていきます。

こうした節目にあたり、今年度は学校経営の根幹である「目指す児童像」について見直しを行いました。本校がこれまで大切にしてきた「つよい子、つづける子、気がやさしい子」という言葉に、今の子どもたちの姿を踏まえた、次のような意味付けを行いました。

つよい子…心や体がたくましく、困難を乗り越えようとする子

つづける子…目標に向かって粘り強く努力を積み重ねる子

気がやさしい子…相手意識をもち、周りを大切にする子

これら3つの姿は、本校教育の根幹であり、私たちが育てたい子どもの姿です。本校では、この児童像の実現を教育の最大の目標とします。

さらに、この児童像をより具体的にするため、学校教育目標の見直しを行い、

「子どもを信じ、その成長を支える思いと責任感をもって、『つつきの子』を育てる」と決めました。この目標には、私たちが子どもたちの可能性を信じ、その成長に寄り添い続けていくという思いを込めています。

令和8年度の本校や児童の実態については、次のように捉えています。

〈よさ・強み〉

- ・落ち着きがあり、穏やかな人間関係を築いていること
- ・世話好きで、互いに支え合う姿が見られること
- ・地域に見守られている安心感があること
- ・小規模を活かした教育ができること

〈課題〉

- ・反応の鈍さや声の小ささが見られること
- ・自分たちで考え、決めて行動する経験が十分でないこと

これらを踏まえ、本年度は児童像の実現に向けて、特に育てたい4つの力を設定しました。

それが、「**自分らしさ**」「**あいさつ・返事**」「**やさしさ・思いやり**」「**コミュニケーション**」です。これらの力は、一度に身に付くものではありません。本校では、発達段階に応じた目指す姿を設定し、日々の教育活動の中で段階的に育てていくことを大切にしていきます。

低学年では、自分の気持ちを素直に表現し、明るくあいさつや返事ができることを目指します。

中学年では、自分の考えをもち、相手の気持ちに気づきながら関わることをできるようにします。

高学年では、自分のよさを生かして主体的に行動し、相手を尊重しながらよりよい関係を築く力を育てます。

そして卒業後には、自ら考え判断し、周囲と協働しながら社会に関わっていく姿へとつなげていきます。

このように、日々の積み重ねが、「つよい子」「つづける子」「気がやさしい子」の育成につながっていくと考えています。



そして、「つつきの子」は学校だけで育つものではありません。子どもたちは、家庭での関わりや地域の中での経験を通して、多くのことを学び、育っていきます。だからこそ、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を大切にしながら、力を合わせていくことが何より重要だと考えています。子どもたちは、私たちにとってかけがえない宝です。その宝を三者で大切に育てていくという思いを共有しながら、本校の教育を進めていきます。